



木更津市オーガニックシティ フェスティバル 2016 結果報告書



木更津市オーガニックシティプロジェクト推進協議会



目 次

第1 開催概要	4
1. 「木更津市オーガニックシティフェスティバル 2016」開催概要	4
第2 実施結果	9
1. 全体事項	9
2. 11月16日実施イベント結果	14
オーガニックなまちづくりフォーラム	14
木と紙のワークショップ	17
学校給食を通じた食からの環境づくり	17
就農相談会	18
農業ヒーローズ～日々の勇姿とその青果～	19
クリーンなエネルギーとしての小水力発電	20
未来の理想都市 “キサラツ”	21
資源と環境を守り、障害者の自立を～まちは鉱山である～	21
オーガニック&公民館サロンカフェ	22
多様なライフスタイルがかなう“Uターン・起業”セミナー	23
オーガニックでやさしい市税の制度説明会	24
「税を考えよう」	25
就労体験「ぶれジョブ」の紹介～未来の地域をつくるなかま～	26
あけぼの園のアイデア商品の紹介と販売	27
盤洲干潟の自然環境保全活動	29
オーガニックアクション！～市民活動のこれから～	30
JETRO 産業セミナー	31
認知症に関する講演会	31
ココカラおやかフェ	32
市民活動パネル展	33
第13回子どもまつりプレイベント	34
オーガニックリゾート～少年自然の家キャンプ場のPR～	35
第3次健康きさらづ21	36
木更津市景観写真展	37
ちばアクアラインマラソン2016展示	37
赤十字奉仕団活動PR	38
木更津市鎌足桜保存会の活動紹介	38
きさらづの里山を知ろう！	39
図書館オーガニックコレクション	40

会場コンサート	41
木更津ゆかりのキャラ調印式.....	42
保育スペース	43
ナチュラルコスメ講座.....	44
木更津市マスコットキャラクター「きさポン」スタンプラリー.....	45
フードコーナー	46
懇親会.....	48
3. 11月17日実施イベント結果.....	51
ALGOA フォーラム in Kisarazu	51
第3 広報・配布物関係.....	60
第4 決算書.....	63
第5 各社新聞記事	66

第 1 開催概要



1. 「木更津市オーガニックシティフェスティバル 2016」開催概要

(1) 名称

木更津市オーガニックシティフェスティバル 2016

(2) 趣旨

本フェスティバルは、市民をはじめ、本市に関わる産業団体・企業、教育機関、メディア、各種団体及び行政等が一堂に会し、日本初のオーガニックシティに向けたキックオフイベントとして、本市で行われているオーガニックなまちづくりの取組を市民へ普及・啓発を行うことで、まちづくりへの理解や参加促進を図るとともに、参加者と来場者の交流により、地域社会・経済活性化など、新たな価値を創造することを目的として開催します。

(3) 期日

2016 年 11 月 16 日（水）・17 日（木）

(4) 会場

かずさアカデミアホール

住所：〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足 2-3-9

電話：0438-20-5555

(5) 主催

木更津市オーガニックシティプロジェクト推進協議会

(6) 後援

駐日インドネシア共和国大使館、外務省、農林水産省、千葉県、
一般社団法人オーガニックフォーラムジャパン

(7) 協力

IFOAM ASIA（国際有機農業運動連盟アジア）

(8) 協賛企業

株式会社アヅホンダ販賣、epm 不動産株式会社、医療法人社団鵬会 高名清養病院、
関東自動車工業株式会社、株式会社協同建設、クレヨンハウス、興和建设株式会社、
株式会社ジェイコム千葉 木更津局、信和産業株式会社、綜和熱学工業株式会社、
株式会社茶三代一、株式会社ティーファームジャパン、株式会社富田屋商店、有限
会社ナラモト印刷、日東珈琲株式会社 大阪支店、株式会社リオ（五十音順、全 16
企業）

(9) 内容

11月16日（水）10:00～17:00

★オーガニックなまちづくりフォーラム

オーガニックなまちづくりのキックオフイベントとして、まちづくりの趣旨説明や
トークセッションを行い、本取組への理解や参加促進を行うことを趣旨とします。

★各まちづくりイベント

来場者に本市のオーガニックなまちづくりの取組を見て・聞いて・触れることで知
ってもらい、交流を通して新たな価値を生み出すことを趣旨とします。

★フードコーナー

食を通して、健康や木更津の恵みを体験していただくことで、魅力を発信すること
を趣旨とします。

11月17日（木）9:30～17:00

★ALGOA フォーラム in Kisarazu ～農によるオーガニックなまちづくり～

アジア各国からゲストをお招きし、有機農業でまちづくりに取り組む地方自治体の
先進事例を学ぶ国際フォーラムです。国を超え、地域の連携で築く持続可能な未来へ
の可能性についてディスカッションします。

※ALGOA (Asian Local Governments for Organic Agriculture) とは、アジアにお
ける有機農業及び関連産業発展の鍵を握る地方自治体間の相互協力体制を築く
ための組織

(10) 入場料

11月16日：無料

11月17日：2,000円

(11) 広報

WEB サイト/フェスティバル専用チラシ

木更津市（広報紙/WEB サイト/フェイスブック/デジタルサイネージ）

ラジオ（bayFm/かずさ FM）

新聞等（木更津暮らしの情報サイト KISACON/ちいき新聞/生活情報誌 Style/
Kate channel/GON 等）

(12) その他

同月 18 日（金）、19 日（土）に「オーガニックライフスタイル EXPO」（@東京国際フォーラム）が開催されるため、オーガニックウィークとして相乗効果を狙います。

(13) 事務局

木更津市オーガニックシティプロジェクト推進協議会事務局

千葉県木更津市富士見 1-2-1 市役所駅前庁舎 木更津市役所企画部企画課内

TEL : 0438-23-7425 FAX : 0438-23-9338 公式サイト : <http://k-organiccity.org>

E-mail : info@k-organiccity.org

(15) 推進協議会参画団体

区分	団体等名
市	木更津市
市議会	木更津市議会
産業団体・企業	木更津商工会議所
	木更津市農業協同組合
	イオンモール株式会社 イオンモール木更津
	株式会社かずさアカデミアパーク
	株式会社新昭和
	新日鐵住金株式会社 君津製鐵所
	ソニーグローバルマニュファクチャリング& オペレーションズ株式会社 木更津サイト
	農業生産法人 株式会社耕す
教育機関	独立行政法人国立高等専門学校機構 木更津工業高等専門学校
	株式会社ジェイコム千葉 木更津局
メディア	特定非営利活動法人 木更C○N
	一般社団法人かずさ青年会議所
各種団体	きさらづアグリフーズ推進協議会
	木更津市観光協会
	木更津市国際交流協会
	木更津市商店会連合会
	広域交流市民の会

※会 長：木更津市長 渡辺 芳邦

副会長：木更津商工会議所会頭 鈴木 克己

監 事：木更津市副市長 久良知 篤史

監 事：木更津観光協会会長 野口 義信

第2 実施結果



1. 全体事項

(1) 来場者数

16日 3,000人

17日 400人

合計 3,400人

(2) 来賓

衆議院議員 浜田 靖一（代理 近藤秘書）

千葉県知事 森田 健作（代理 総務部市町村課 館野課長）

木更津市議会議員

(3) 海外参加国

インドネシア、中国、韓国、ブータン、フィリピン、インド、スリランカ、モンゴル、バングラデッシュ（順不同、全9カ国）

(4) 祝電・メッセージ

三重県亀山市長（16日来場）、千葉県東金市長、神奈川県足柄郡松田町長、埼玉県八潮市長、埼玉県秩父市長、三重県伊賀市長、大阪府東大阪市長、和歌山県御坊市長、岡山県岡山市長、岡山県美作市長（全10市町）

(5) 気象状況

① 11月16日（水）

天候：晴れ

気温：12.1℃（平均）

② 11月17日（木）

天候：晴れ

気温：12.4℃（平均）

(6) 救護関係

保健師本部待機

救護対応回数：0回

(7) シャトルバス関係

①区間 かずさアカデミアパーク～木更津駅東口

②運行時刻表

16日(水)

時	アカデミアホール 行き	
8	—	—
9	00	30
10	00	30
11	00	30
12	00	30
13	00	30
14	00	30
15	00	30
16	—	—
17	—	—
18	—	—

時	木更津駅行き	
8	—	—
9	—	—
10	—	—
11	00	30
12	00	30
13	00	30
14	00	30
15	00	30
16	00	30
17	00	30
18	00	—

17日(木)

時	アカデミアホール 行き	
8	—	30
9	—	30
10	—	30
11	—	30
12	—	—
13	—	—
14	—	—
15	—	—
16	—	—
17	—	—
18	—	—

時	木更津駅行き	
8	—	—
9	—	—
10	—	—
11	—	—
12	—	—
13	—	—
14	—	—
15	—	—
16	00	30
17	00	30
18	00	—

③運行体制

16日(水): 60人乗りバス3台

17日(木): 27人乗りバス1台(朝夕)、60人乗りバス1台(夕)

④乗車状況

16日(水): 100人程度 17日(木): 50人程度 ※有限会社房総エクスプレス 調べ

(8) 16日事務従事者名簿

班等名	業務等	人数	所属等	氏名
運営責任者		1	企画部長	小河原 茂之
①本部総務班	全体総括、以下班に 該当しない業務	10	企画部次長	山口 芳一
			企画部参事	高橋 祐美子
			企画部企画課長	中村 伸一
			企画部企画課	鈴木 昭宣
			企画部企画課	島村 領一
			木更津市経済部長	鎌田 哲也
			木更津市経済部次長	小倉 富士雄
			木更津市経済部農林水産課副課長	岸 知己
			経済部農林水産課	野村 洋貴
			運営事務補助(委託)	三好 智子
②来賓接待班	来賓受付・案内	4	企画部企画課	清水 未佳
			経済部農林水産課	清水 佐知子
			経済部農林水産課	中村 珠希
			木更津商工会議所総務課長	平野 剛
③海外ゲスト接待班	海外ゲストのアテン ド、通訳ボランティア 対応(KIFA)	4	企画部企画課	田原 和典
			企画部企画課	嶋田 清美
			経済部農林水産課(兼務)	野村 洋貴
			企画部街なか交流推進課	小山 真史

④受付・プレス 対応班	総合案内 プレス受付・対応	3	企画部企画課	萩原 奈央子
			経済部産業振興課	星野 敦子
			経済部農林水産課	臨時職員 相川
⑤記録班	会場内の記録	1	企画部情報政策課	石井 彰一
⑥フォーラム運 営班	進行・出演者との連 絡調整、舞台設営・ 撤去	4	企画部企画課	北村 晴美
			企画部企画課	金子 龍一郎
			企画部街なか交流推進課	平野 幸子
			経済部農林水産課	臨時職員 天野
⑦イベント運営 班	会場設営・撤去、搬 入搬出管理、出演者 等対応、各部等との 連絡調整	7	企画部企画課長（兼務）	中村 伸一
			企画部企画課	鶴岡 佳代
			企画部企画課（兼務）	萩原 奈央子
			企画部企画課（兼務）	荒添 健
			経済部農林水産課	太田 真雅
			経済部農林水産課	伊藤 格
			経済部産業振興課	石井 翔太
⑧キャラクター 班	きさポン、チーバク ん出演	4	企画部企画課	古宇田 大揮
			経済部産業振興課	平田 祐貴
			経済部観光振興課	廣部 倅佑
			経済部観光振興課	森 祐太郎
⑨環境美化班	ごみ処分等	1	企画部企画課	荒添 健
⑩給食班	来賓等お弁当手配、 フードチケット管理	2	企画部企画課	浪久 優
			企画部情報政策課	伊藤 義匡
⑪救護班	急病人対応	1	企画部企画課	柳 翔
⑫バス・駐車場 班	シャトルバス対応、 駐車場誘導	8	企画部企画課	高橋 裕幸
			企画部街なか交流推進課	西原 司
			総務部秘書課	植野 博
			総務部総務課	渡辺 重幸
			総務部総務課	河名 高史
			総務部職員課	亀田 聡史
			総務部管財課	松本 貴人
			総務部行政改革推進室	山本 弘幸
⑬検討会議主催 イベント	木更津ゆかりのキャ ラ調印式	3	企画部情報政策課	米澤 聡史
			市民部保険年金課	鈴木 良典
			都市整備部土木管理課	滝沢 諭
	ナチュラルコスメ講 座	3	財務部市民税課	小倉 朋子
			福祉部高齢者福祉課	古賀 佳代子
			水道部工務課	梅田 千尋
	きさポンスタンプラリー	2	総務部総務課	青木 講士
			福祉部障害福祉課	望月 賢
	東校（書道、ラン	1	市民部保険年金課	檀谷 浩介
	会場コンサート	1	市民部市民活動支援課	北見 寛之
保育スペース	2	環境部まち美化推進課	荘司 優	
		消防本部予防課	加藤 久昭	

(9) 17日事務従事者名簿

班等名	業務等	人数	所属等	氏名
運営責任者		1	企画部長	小河原 茂之
①本部総務班	全体総括、以下班に該当しない業務	10	企画部次長	山口 芳一
			企画部参事	高橋 祐美子
			企画部企画課長	中村 伸一
			企画部企画課	鈴木 昭宣
			企画部企画課	島村 領一
			木更津市経済部長	鎌田 哲也
			木更津市経済部次長	小倉 富士雄
			木更津市経済部農林水産課副課長	岸 知己
			経済部農林水産課	野村 洋貴
			運営事務補助（委託）	三好 智子
②来賓接待班	来賓受付・案内	5	企画部企画課	鶴岡 佳代
			企画部企画課	清水 未佳
			経済部農林水産課	清水 佐知子
			経済部農林水産課	中村 珠希
			経済部農林水産課	臨時職員 阿部
③海外ゲスト接待班	海外ゲストのアテンド、通訳ボランティア対応（KIFA）	3	企画部企画課	田原 和典
			企画部企画課	鴫田 清美
			企画部企画課	井脇 絵理
④受付・プレス対応班	一般入場手続き プレス受付・対応	4	企画部企画課	萩原 奈央子
			財務部市民税課	小倉 朋子
			経済部産業振興課	川崎 百香
			経済部農林水産課	臨時職員 天野
⑤記録班	会場内の記録	1	企画部情報政策課	石井 彰一
⑥フォーラム運営班	進行・出演者との連絡調整、舞台設営・撤去	5	企画部企画課	北村 晴美
			企画部企画課	金子 龍一郎
			福祉部高齢者福祉課	古賀 佳代子
			経済部農林水産課（兼務）	野村 洋貴
			運営事務補助（委託）（兼務）	三好 智子
⑦環境美化班	ごみ処分等	1	都市整備部土木管理課	滝沢 諭
⑧給食班	昼食、コーヒーブレイク	6	企画部企画課	浪久 優
			市民部市民活動支援課	北見 寛之
			経済部農林水産課	臨時職員 進藤
			教育部学校給食課	地曳 美千代
			消防本部予防課	加藤 久昭
			水道部工務課	梅田 千尋
⑨救護班	急病人対応	1	企画部企画課	柳 翔

⑩バス・駐車場班（ライフスタイルエキスポ担当含む）	シャトルバス・駐車場誘導（4名）、ライフスタイルエキスポ搬入（3名）	8	企画部企画課	高橋 裕幸
			経済部農林水産課	太田 真雅
			経済部農林水産課	伊藤 格
			企画部情報政策課	米澤 聡史
			総務部総務課	青木 講士
			福祉部障害福祉課	望月 賢
			市民部保険年金課	檀谷 浩介
			環境部まち美化推進課	荘司 優
		3	企画部企画課	古宇田 大揮
			経済部観光振興課	廣部 倅佑
			経済部観光振興課	森 裕太朗

2. 11月16日実施イベント結果

オーガニックなまちづくりフォーラム

1. 会場
メインホール
2. 司会
鈴木 希依子



第1部

1. オープニングセレモニー (10:00~10:15)
書道パフォーマンス (県立木更津東高校)



2. 主催者挨拶 (10:15~10:20)
木更津市オーガニックシティプロジェクト推進協議会
会長 (木更津市長) 渡辺 芳邦



3. 来賓代表挨拶 (10:20~10:25)

衆議院議員 浜田 靖一 (代理 近藤秘書)

千葉県知事 森田 健作 (代理 館野市町村課長)

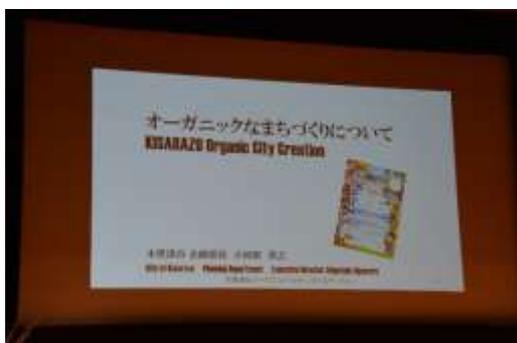


4. 来賓紹介 (10:25~10:30)



5. プレゼンテーション「オーガニックなまちづくりについて」(10:30~11:00)

木更津市企画部長 小河原 茂之



第2部

キックオフトークセッション「未来へつなぐために」(15:30~16:30)

1. 趣旨

「オーガニック」を視点としたまちづくりを新たにスタートさせました。

この取組の実現には、現状を良くしようと主体的に行動する、市民をはじめ、地域や団体、企業等の支えが必要です。そこで、「オーガニックなまちづくり」のキックオフにあたり、市内の様々な分野において、ご活躍されている方々を招き、日頃の取組や思いを伺い、もって、来場者（市民等）に対し、本まちづくりの理解と主体性の醸成を図ります。

【目的】

- ・市民等にオーガニックなまちづくりを理解してもらう。
- ・市民等が前向きな考えや行動を起こすきっかけとしてもらう。

コーディネーター 渡辺 芳邦（木更津市長）

パネリスト 嶋田 一彦氏（勝手に木更津応援団 代表）

豊増 洋右氏（農業生産法人株式会社耕す マネージャー）

飯田喜代子氏（特定非営利活動法人一粒舎 代表）



木と紙のワークショップ

木のおもちゃやアクセサリ作り、紙芝居、折り紙、立体絵本展示等のワークショップを行いました。きれいな飛び出す絵本や積み木を体験できて、木切れに楽しい絵を描いてみて積み木にしてみたり、お子さんが体験できるブースを開設しました。積み木は角が丸くなっていて、危なくない仕様とし、小さいお子さんも楽しそうに積み重ねていました。



- (1) 会 場
101会議室
- (2) 開催時間
10:00～17:00
- (3) 担 当
NPO法人木更C○N

学校給食を通じた食からの環境づくり

- (1) 会 場
102会議室
- (2) 開催時間
10:00～17:00
- (3) 担 当
学校給食課
- (4) スケジュール
 - 10:00～ パネル展示
 - 12:50～ ALGOAメンバー「給食プロジェクト」ビデオ視聴
 - 13:00～ ビデオ視聴終了 講演受付開始
 - 13:20～ 学校給食課事例発表
 - 13:40～ 休憩
 - 13:50～ 講演会（講師：金丸弘美氏）
 - 15:30～ 講演終了
 - 17:00～ パネル展示終了

(5) 講演内容

学校給食課事例発表：「鎌足地区の給食プロジェクトについて」

金丸弘美氏講演会：「学校給食を通じた食からの環境づくり」

(6) 展示物

・パネル6枚（室内4枚、室外2枚）

※プロジェクト紹介、アンケート調査結果、特別授業内容

・鎌足地区の有機にんじん（1籠分）

・鎌足小学校の液肥（ペットボトル1本分）

(7) 講演会来場者数 42人

(8) 市職員事務人数 5人



就農相談会

新規就農を考えている方のために、市職員による就農相談会を開催しました。

(1) 場所

103会議室

(2) 時間

10時～17時

(3) 担当

農林水産課

(4) 来場者数

10人

(5) 市職員事務従事者数

1人

農業ヒーローズ～日々の勇姿とその青果～

農業委員会の役割や活動、それぞれの農業委員の取り組みについてパネル展示等により紹介する。また、農業委員の育てている農産物の試食を行った。

- (1) 場 所 103会議室
- (2) 開催時間 10時～17時
- (3) 担 当 課 木更津市農業委員会
- (4) 来場者数・試食数 300人・900食
- (5) 職員数 市職員 4人、木更津市農業委員会 11人
- (6) 来場者アンケート結果

パネル内容について

- ・農業経営の方々の文化発表は非常にめずらしい。増々発展して良い農産物を提供してください。
- ・頑張っている木更津の農業の方々の様子が知れて良かったです。農は国の基本です。
- ・昔家族で行っていた田植えも子供が減り、後継者がいなくなり、荒れている農地も少なくない中、開放して農業体験やイベントを行っているのは開かれた農業の第一歩として今後広がっていくといいと思います。
- ・クイズがあるとよくパネルを見て良い工夫だと思いました！

試食について

- ・ごはんがつつやで冷めてもおいしかったです。
- ・もちもちして米がしっかりしていておいしいです。
- ・お米は食感が良く、甘みもあり、海苔もおいしかった。
- ・きんぴらパパイヤ美味しかったです。大根のつけものもお味噌も最高！



クリーンなエネルギーとしての小水力発電

木更津市水道部では、自然エネルギーを活用するため、現在、小水力発電の検討を実施しており、その内容や小水力発電のしくみ、近隣都県での実施状況をパネルや模型の展示により市民や近隣市、及び関係機関にPRした。

- (1) 場所
104会議室
- (2) 開催時間
10時～17時
- (3) 担当
工務課
- (4) 展示物
パネル（A0縦） 3枚
 - ・小水力発電について
 - ・水力発電について
 - ・近隣都県の水力、小水力発電の実施状況について模型 2基
 - ・水力発電及び小水力発電の模型
 - ・小水力発電の発電部模型
- (5) 配布物
 - ・東京発電㈱のパンフレット
 - ・近隣都県における個々の小水力発電の概要
- (6) 来場者数
100人（推定）
- (7) 市職員事務人数
3人
- (8) 外部協力者
東京発電㈱ 説明者1人



未来の理想都市 “キサラツ”

木更津は、ここ数年でめまぐるしく進化しています。都会の象徴ともいえるような施設がいくつも作られはじめ、周りからも一歩抜き出たように思えます。今の“木更津”を総合的にみると何でも揃っているように見えるのですが、それなら個人の目で見るとどうなのでしょう。私たちは、個人のアイデアをまとめた『未来の理想都市 “キサラツ”』をご覧にいれようと思います。太陽のエネルギーも活用したいです。

- (1) 場所
104会議室
- (2) 開催時間
10時～17時
- (3) 担当
木更津高校

資源と環境を守り、障害者の自立を～まちは鉱山である～

オーガニックなまちづくりの要点である、循環・自立・共生に係る取り組みとして、まち美化推進課が取り組んでいる小型家電リサイクル事業のなかで、市民から引き取ったパソコン・携帯電話等の電子機器の分解を行っている、特定非営利活動法人あゆみ会の職員及び作業従事者である障害者を招き、イベントを実施した。

イベントでは、電子機器分解と資源循環の流れをパネル展示し、電子機器の解体作業の実演をあゆみ会に行ってもらい、障害者の方々が生き生きと働く姿・市の取り組みで希少な資源が再生される様子を来場者にご覧いただいた。

- (1) 場所
104会議室
- (2) 開催時間
10時～17時
- (3) 担当
まち美化推進課
- (4) 従事者数
あゆみ会：6人 市職員：1人
- (5) 来場者数
約70人



オーガニック & 公民館サロンカフェ

①市内 16 の公民館事業の掲示

公民館事業について、地域住民が主体となって活動する地域課題への取り組みや、公民館が主催または支援している事業などを各館が写真資料を添えて、わかりやすく掲示することができた。

②「木更津珈琲」をイメージした「珈琲」の試飲の提供

文京・岩根西公民館で実施した「珈琲講座」の講師およびその卒業生と協力し、珈琲の試飲を提供した。試飲をきっかけに、市民が集う場、運営側として市民の力を活かす場となった。

③公民館事業の参加者による市内産「珈琲の木」の取り組みの紹介

「珈琲講座」の参加をきっかけに始まった、市内園芸家による市内産「珈琲の木」の育成に関する取り組みを紹介することができた。

(1) 場所

105会議室

(2) 開催時間

11時～17時

(3) 担当

中央公民館

(4) 来場者数

850人

(5) 市職員事務人数

8人

(6) その他、出演者・関係団体・内容等

・講師 ブラジル屋 朝倉幹雄

・珈琲講座卒業生4名 渡邊恵子・田村美智子・齊藤ふさ子・鶴岡千鶴子



多様なライフスタイルがかなう“Uターン・起業”セミナー

「都心に近接する自然を活かした新たなローカル・ブランディング事業～木更津オーガニックシティ戦略～」の一事業として、都心に住む若者等を対象に、本市のオーガニックなまちづくりに向けた活動を広めるとともに、本市への起業を通じた移住・交流の促進を図ることを目的とし、Uターン・起業に興味のある若者等を対象に、夢の実現や、自分らしいワークスタイルなどを考えるきっかけとして、本市に移住し、起業した方によるトークカフェ形式のセミナーを開催した。起業のきっかけや、本市での暮らし、今後の思いなどを講演いただいた。

(1) 場所

106会議室

(2) 開催時間及び講師

第1回 午前の部 11:00～

イルマリオオーロ（イタリアンレストラン） 伊藤隆志さんご夫婦

第2回 午後の部 14:00～

マンモスいちご園 石井圭祐さんご夫婦

(3) 担当

情報政策課

(4) 来場者数

第1回 27名

第2回 28名

(5) 事務人数

7名（うち市職員3名、NPO法人木更CON4名）

(6) その他

セミナー開催時以外は、チョークアート教室の起業を予定している、イルマリオオーロの伊藤香織さんによるチョークアート体験教室（1回500円）を開催し、13名が参加した。



オーガニックでやさしい市税の制度説明会

来場者に市税の説明を行い、市税の役割と重要性をご理解いただく説明会場を開催した。多数の来場者（入出者）があった上、説明を求める市民もいた。この説明会を通じて来場者からはいかなる苦情や不信が表明されることが無かったため、市民からは木更津市の税制度について全幅の信頼を得ているものと考えている。

ただし、次回以降のこのような楽しい企画を中心としたイベントが開催された場合に、今回のような税に関するイベントブースを設けるべきかについては、前述の信頼を得ている中であっては一考の余地があると感じた。

- (1) 場所
107会議室
- (2) 開催時間
10時から17時まで
- (3) 担当
市民税課・資産税課
- (4) 来場者数
集計せず
- (5) 職員関与人数
3人



「税を考えよう」

租税教育の内容の紹介、及び住民の社会参加をアピールするため、納税の意識付けを目的に小中高校生から応募いただいた「税の作文」「税の標語」を展示した。

- (1) 場所
107会議室
- (2) 開催時間
10時～17時
- (3) 担当
収税対策室
- (4) 展示数（表彰された優秀作品）
作文 8点
標語 6点
- (5) 来場者数
20～30人
- (6) 職員事務人数
市 1人
外部 1人（税務署職員）



就労体験「ふれジョブ」の紹介～未来の地域をつくるなかま～

「ふれジョブ」とは、障害のある子どもたちを対象とした就労体験のプログラムで、出会いを通して一緒に生きていくことの出来る地域社会を共に創るという目的の活動です。身近な地域にある企業を「サポーター企業」として協力をしていただき、子どもたちが体験したい、また、できそうな仕事を希望して選びます。放課後または休日を利用して、1週間に1回1時間の活動を半年くらい継続して行います。お仕事は、ボランティアの「ジョブサポーター」と一緒に行い、わからないところは、「ジョブサポーター」から支援してもらいます。本市で行われているこの取り組みをパネル展示とDVDにて紹介しました。

(1) 場所

107会議室

(2) 開催時間

10時～17時

(3) 担当

障害福祉課

(4) 来場者数

約40人

(5) 市職員事務人数

1人

(6) その他

ふれジョブの問い合わせ先

ふれジョブ木更津連絡協議会事務局

〒292-0026

木更津市井尻942 木更津市指定相談支援事業所・ほっと内

TEL 0438-97-8556



あけぼの園のアイデア商品の紹介と販売

あけぼの園では、利用者の日常作業としてさまざまな商品を作っています。今回は牛乳パックで作ったイス（大・中・小）を先着24名に無料配布し、革製品等について展示および販売しました。

(1) 場所

107会議室

(2) 開催時間

10時～17時（イスについては午前中にて配布終了）

(3) 担当

障害福祉課

(4) 販売商品・売上

販売商品24種類（革・布・紙）

No.	商品名	単価	出品数	販売数	金額
1	アームカバー	300	5	3	900
2	エチケットポーチ	200	5	3	600
3	クリスマスツリー	1,000	2	2	2,000
4	コースター	100	10	4	400
5	シュシュ	100	7	1	100
6	多用袋	500	6	2	1,000
7	ティッシュケース	100	10	5	500
8	袋①	100	4	2	200
9	袋②	200	4	1	200
10	ふくろう	300	5	3	900
11	ブックカバー	500	3	1	500
12	ペットボトルカバー	500	6	1	500
13	ミニ巾着	300	3	1	300
14	ランチヨンマット	300	5	2	600
15	キーケース	800	10	3	2,400
16	キーホルダー	200	5	3	600
17	小銭入れ	500	3	1	500
18	根付け	200	115	25	5,000
19	めがねケース	2,500	1	1	2,500
20	クリスマスストラップ	300	10	6	1,800

2 1	クリスマスブローチ	2 0 0	5 0	5	1, 0 0 0
2 2	多目的金封	1 0 0	1 0 0	6	6 0 0
2 3	ビーズ犬	1 0 0	2 0	2	2 0 0
2 4	メモスタンド	1 0 0	1 0	4	4 0 0

売上金額合計 2 3, 7 0 0 円

(5) 来場者数

約50人

(6) 市職員事務人数

1人

(7) その他

あけぼの園への問い合わせ先

〒292-0834

木更津市潮見2-13-5

TEL・FAX 0438-25-2345



盤洲干潟の自然環境保全活動

東京湾に残された唯一の自然干潟で、東京湾岸の貴重な財産でもある「小櫃川河口の盤洲干潟」について、保全活動を行っている「盤洲干潟をまもる会」の活動内容について、チラシやポスター・写真などを用いて来場者に周知を行った。

(1) 場所

1階ホワイエ

(2) 開催時間

10時から17時

(3) 担当

環境管理課

(4) 展示内容

- ・活動の主旨を記載したポスター3枚
- ・干潟の景観・活動内容・鳥・貝・魚・貴重な生物の写真を約120枚を「掲示」。
- ・干潟のパンフレット 160枚程度を配布

(5) 来場者数

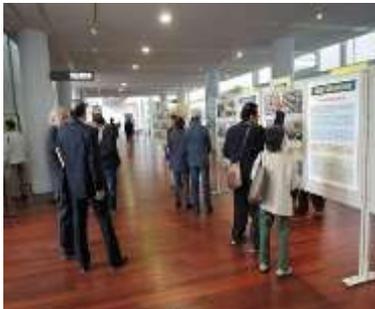
(盤洲干潟をまもる会からの報告)

干潟のパンフレットは100枚準備したのですが、昼過ぎには残り少なくなり、追加のために保管者が急いで取りに帰り、最終的に160枚以上配布することが出来ました。満足のゆく展示会であったと思っております。との事でした。

(6) 対応者数

盤洲干潟をまもる会 田村会長以下3名

市職員事務人数1名 (計5名)



ぼんず さがた

盤洲干潟をまもる会

河口三角州を
～干潟自然環境保全地域に～

私たちはこの干潟の自然の素晴らしさと大切さを広く紹介し、干潟の中心地である「河口三角州4地区」をこのまちの宝に持つことを目指して活動している団体です。

この会の前身は、1977年に発足した「干潟まつり実行委員会」です。干潟の保全を推進していく前に、まず市民の皆さんに干潟とはどんな場所を知ってもらおうから始めました。干潟に関心を持つ人が増えれば、保全に向けて大きな推進力になると考えられました。

干潟に来て、見て、食べて、自然と触れ合う楽しいイベントを「干潟まつり」と称して行ってきました。2000年に会の名を改称した後もまつりイベントを中心に活動を継続し、現在に至っております。近年市民の皆さんの関心が増え、干潟への関心が高まりつつあると感じております。

私たちは、この干潟の自然環境を次の世代に残すために、行政には申請し河口三角州を「千葉県自然環境保全地域」に指定して、保全を行政主導にするよう、他の自然保護団体と共に働きかけております。

主催している全てのイベント

1. 開催したばかりの大規模「干潟まつり」開催
2. 季節ごとに「干潟の自然観察会」
3. 干潟と小櫃川の自然の生きものを紹介する「海の博物館」

※干潟まつりイベントは本委員会の公募を受け、市民参加のイベントとして開催しております。平成20～24年の実績

- ・平成20年 参加158名/回
- ・平成21年 参加111名/回

オーガニックアクション！～市民活動のこれから～

少子高齢化の進行や近い将来に予測される人口減少などにより、いままでの制度や体制では解決できない構造的課題に対応するため、持続可能なまちづくりに向けた体制の構築が必要となってきております。

そのような社会変化のなか、木更津市は健康で持続可能な暮らしを守るため、環境や社会に配慮し、主体的に行動しようとする生き方を「オーガニック」と定義し、「オーガニックなまちづくり」を推進していくものです。

そのなかでも、実際に市民活動を行っている「人」に焦点をあて、人の意識が豊かになっていくことにより、人と人とのつながりが生まれ、地域が活性化し、木更津市全体が今よりも住みよいまちになることによって、経済の発展、人口増加が見込まれ、最終的には地域へ人が流入し自らへ還元されていく人の「循環」の意識を来場者に認識していただき、市民一人ひとりが主体的に行動する機運の醸成を図るため実施した。

(1) 場所

201A会議室

(2) 開催時間

13:30～15:00

(3) 担当

市民活動支援課

(4) パネラー及び講演者

- ・木更津市長 渡辺 芳邦
- ・木更津市副市長 久良知 篤史
- ・(株)studio-L 代表 山崎 亮
- ・特定非営利活動法人一粒舎 金井 太一
- ・市民支援薬剤師連絡会 PIG 副会長 齋藤 武

(5) 来場者数

120人

(6) 市職員事務人数

7名



JETRO 産業セミナー

JETRO の説明、および、各種取組等をまず説明し、特に今回はオーガニックを農業の面から捉えたセミナーを行った。具体的には農林水産業の輸出力強化に対する戦略や、その促進に向けた事業の説明、その他 6 次産業化への手法や支援の取組についての講演を行い、市内農業者や新規創業希望者へ向けた支援体制を周知することができたと思われる。

- (1) 場 所 201B 会議室
- (2) 開催時間 11 時 15 分～12 時 15 分
- (3) 担 当 ジェトロ千葉
- (4) 来場者数 40 人
- (5) 事務人数 5 人 ※ジェトロ千葉 関係者

認知症に関する講演会

健康で持続可能な暮らしを守るため、環境や社会に配慮し、主体的に行動しようとするオーガニックの考え方は、厚生労働省を始めとし、関係各省庁が平成 27 年 1 月に共同で策定しました「認知症施策推進総合戦略」通称新オレンジプランの基本的な考えである「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す」に通じるものがあります。

そのため、高齢者福祉課では認知症についての理解を深めていただく講演会を企画いたしました。

- (1) 場 所 201B 会議室
- (2) 開催時間 14 時～15 時 30 分
- (3) 担 当 高齢者福祉課
- (4) 講演内容

「木更津市の認知症の現状について」

木更津市中部地域包括支援センター 山本てつ子センター長

「栄養と認知症」

オビナタクリニック 大日方 研 院長

- (5) 来 場 者 数 約 80 人
- (6) 市職員事務人数 3 人



ココカラおやかフェ

本市で活動を行なっている「勝手に木更津応援団」によるワークショップや体験教室、相談などを実施することによって、市民活動を広く周知するとともに、人と人とのつながりや、一人一人が主体的に行動する機運を醸成し、オーガニックなまちづくりに寄与するもの。

(1) 場所

202A会議室

(2) 開催時間

10時～17時

(3) 担当

市民活動支援課

(4) 出店内容

ベビーマッサージ体験・ベビグラフ体験・リセットプチ整体
ベビードリームアート撮影体験・UVレジンWS・スワロフスキーWS
天然石ブレスレットWS・ポーセラーツWS・イラストスナップ
雑貨小物販売・開運気学プチ鑑定・ヘルス&ビューティー健康相談
山のパン屋のパン販売・渡辺あゆ香さんの歌のじかん

(5) 来場者

200人

(6) 市職員事務人数

2人



市民活動パネル展

市民活動団体パネル展を実施することにより、市民活動団体の日頃の成果発表の場になることはもとより、市民活動団体同士の交流、市民と活動団体との交流等、人と人とのつながり（循環）に寄与するため、実施した。

また、パネル展開催中、来場者の投票によるコンテストを実施。内容は来場者の方にこの活動「イイね！」と思った活動にシールを貼ってもらい、また、市民活動に対するコメントをもらった。後に、パネル展に参加した団体を市民活動支援センターのフェイスブックで特集（「イイね！」、コメントの公開、活動内容等の紹介）を行った。

(1) 場所

202A会議室、202ホワイエ

(2) 開催時間

10時～17時

(3) 担当

市民活動支援課

(4) 出店数（出展団体数）

18団体

きさらづプレーパークの会、木更津市国際交流協会、木更津健康寿命研究会

木更津健康応援会 FRESHMamanity、「野の花の家」家庭養育支援会

木更津こども人形劇場理事会、万葉の歌碑を建立する会

江戸前海苔パウダー運営委員会、上総豆豆倶楽部

巖根まちおこしどっこいしょの会、特定非営利活動法人一粒舎

このゆびとまれコンサート実行委員会、ライフサポート波岡、きさらづ里山の

会、かずさ青年会議所、勝手に木更津応援団、市民支援薬剤師連絡会 P I G

(5) 来場者数

250人

(6) 市職員事務人数

6人



第13回子どもまつりイベント

第13回こどもまつり（平成28年11月19日開催予定）のイベントとして、子どもまつりの普及啓発のためパンフレットの配布や過去に実施した写真集を展示するとともに、子どもまつりで実際に行っている足型屋、エコエココロコロ、段ボールハウスを実施した。

(1) 場所

202B会議室

(2) 開催時間

10時～17時

(3) 担当

子育て支援課

(4) 出店

No.	内容	実施内容
1	足型屋	子ども50人分の足型をとりプレゼントする。
2	エコエココロコロ	子どもの遊びを提供
3	段ボールハウス	〃
4	パンフレット配布	来場者にパンフレットを配布

(5) 来場者数

300人

(6) 市職員事務人数

6人



オーガニックリゾート～少年自然の家キャンプ場のPR～

①少年自然の家キャンプ場のテントの展示

未使用のキャンプ場備品テントを、桜井公民館より借用した屋形テントに覆い被せて展示した。屋形テントの支柱が長かったため、ウォール（テント側面部）が地面まで届かなかったので、展示用パネルを目隠しとして設置した。

②スタードームの展示

アフタースクールボランティアの会、ユースボランティア、職員で、事前にキャンプ場の竹を使って直系約9メートル、高さ約7メートルの半球状のスタードームを作成した。キャンプ場で竹に穴を開けて仮組みを行い、かずさアカデミアホール会議室で本組みをした。スタードームには、街なか交流推進課から借用したLEDイルミネーション（青色・白色）で装飾した。

③キャンプ場の紹介パネル展示、装飾

少年自然の家キャンプ場をPRするために、施設紹介や風景写真のパネル展示を行った。また、キャンプ場で実際に使用している飯ごう、食器類、薪などを設置してキャンプ場の雰囲気再現をした。

(1) 場所

202B会議室

(2) 開催時間

10時～17時

(3) 担当

生涯学習課

(4) 来場者数

80名

(5) 職員従事者

市職員 5名

アフタースクールボランティアの会 4名

ハックルベリー 1名



第3次健康きさらづ21

健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指す「第3次健康きさらづ21」の主な内容を展示にて行った。

(1) 場所

201ホワイエ

(2) 開催時間

10～17時

(3) 担当

健康推進課

(4) 内容

第3次健康きさらづ21の生活習慣病予防のための啓発として、以下の内容をA1サイズパネル6枚にて展示。

- 健康の判断を何でしていますか？
- 人工透析者数（千葉県地図）
- 健診結果から腎臓機能障害がわかるようになりました
- 血管は自分で守ることができます
- 自分の健診結果を理解できるようになろう
このまま進行すると、どうなるのか？
- 第3次健康きさらづ21 概要版

(5) 来場者

約80人程度（推計） 2階イベント・ホワイエ来場者



木更津市景観写真展

木更津市の景観をPRするため、平成24年度から行っている景観写真展の作品の中から人気のある作品を中心に展示を行った。

- (1) 場 所 201ホワイエ
- (2) 開催時間 10時～17時
- (3) 担 当 都市政策課
- (4) 景観写真数 36枚
- (5) 市職員事務人数 2人



ちばアクアラインマラソン2016展示

ちばアクアラインマラソン出場者から大変好評である小中学生による沿道応援にて使用した応援横断幕32枚を展示すると同時に木更津市が取り組んだ事業についてチバテレビが編集したDVDを繰り返し放映した。

- (1) 場所 2階 201ホワイエ (応援横断幕展示)
1階 喫茶室前 (DVD放映)
- (2) 開催時間 10時～17時
- (3) 担 当 スポーツ振興課
- (4) 市職員事務人数 2人



赤十字奉仕団活動 PR

日本赤十字社活動の PR を行うため、広報用資機材の展示、チラシ・パンフレットの配布を行いました。また奉仕団員により、災害時に役立つグッズを来場者に説明しながらいっしょに作っていただきました。ゴミ袋を利用した雨合羽、新聞紙で作るスリッパ、ふろしきでリュック、三角巾を使った応急手当などどれも好評で、外国からのお客様にも喜んでいただけました。

熊本地震義援金をはじめ募金箱を設置し、ご協力をお願いしました。

- (1) 場所
202 ホワイエ
- (2) 開催時間
10時～16時
- (3) 担当
社会福祉課
- (4) 来場者数
50人
- (5) 募金額
6,890円
- (6) 市職員事務人数
3人



木更津市鎌足桜保存会の活動紹介

絶滅の危機にあった「鎌足桜」の保護・育成活動の紹介と、毎年実施している“伝説に彩られた鎌足桜の魅力”を作品テーマにした「写真と短歌・俳句コンテスト」の入賞作品の展示、また入賞作品を題材とした「平成29年版鎌足桜カレンダー」の頒布を通じ、市内外に鎌足桜のPRを行うことができた。

- (1) 場所
202 ホワイエ
- (2) 開催時間
10時～17時
- (3) 担当
鎌足公民館



- (4) 来場者数
200人
- (5) 鎌足桜カレンダー頒布数
12部
- (6) 市職員事務人数
2人



きさらづの里山を知ろう！

きさらづ里山の会の紹介として、里山の保全活動の紹介を行った。

また、実際の活動の成果等の展示の場として、炭焼きで作った木炭や、クロモジ精油の抽出過程のビデオ等を放映し、来場者の方への説明等を行った。その他、上記クロモジ精油等の販売も実施した。まず第一歩として、木更津にも里山があるということ、その活動の一旦を知っていただいたと感じている。

- (1) 場所
202ホワイエ
- (2) 開催時間
10時～17時 ※実際の撤収
- (3) 担当
きさらづ里山の会
- (4) 来場者数
80人
- (5) 事務人数
きさらづ里山の会 関係者 3人

図書館オーガニックコレクション

図書館所蔵のオーガニック系の図書や小櫃川の河口にある干潟、図書館所蔵のギルモアコレクション（狸）をコンパクトにまとめ展示をしました。

さらに、図書館の利用に結びつけるよう利用案内や鎌足保育園の園児に手遊びや素話を語ったり、日頃の業務の一部も紹介するなど予定にはありませんでしたが、行えるサービスをできる限り行い、盛りだくさんの内容になりました。また、ブースの隣近所のみなさんとの親交も深め、お互いを理解するいい機会になったと思います。

(1) 場所

202ホワイエ

(2) 開催時間

10時～16時

(3) 担当

図書館

(4) 来場者数

約150人（配布用に持参した葉50枚が全て無くなり、次に配布した袖30個ぐらいも全て無くなり、2、3人で立ち寄っている人が多かったので、概算で出しました。）

(5) 市職員事務人数

3人

(6) その他

開始時間は予定通りでしたが、終了については隣近所の皆さんの撤去が15時を過ぎた頃から始まったため、様子を見ていましたが16時ごろから行ってしまいました。



会場コンサート

本市の考えるオーガニックなまちづくりとは、健康で持続可能な暮らしを守るため、環境や社会に配慮し、自らが何ができるかを考え、実際に行動する生き方で、私たちは、「オーガニック」をまちづくりのテーマとし、人と自然が調和した持続可能な都市を構築し、次世代につないでいかなければなりません。その中でも音楽を通じて人と人とのつながりや文化の継承などを意識的に啓発することにより、一層の「オーガニック」の推進を図っていく。

(1) 場所

1階メインロビー

(2) 開催時間

11時～12時30分

(3) 担当

オーガニックシティプロジェクト検討会議（市民活動支援課）

(4) 講演者

音楽療法の会 佐々木次郎氏 他30名程度

このゆびとまれコンサート実行委員会 神子 真由美氏

(5) 来場者数

50名

(6) 市職員事務人数

1人



木更津ゆかりのキャラ調印式

木更津のキャラを集合させ、来場者の方にお楽しみいただくため、木更津にゆかりのあるキャラを集合させるイベントを行った。

本市が「オーガニックなまちづくり」を進めていることから、それぞれのキャラによって、それぞれの個性があり、それを認め合い、互いに木更津を盛り上げていくことを決意し、調印するという形でキャラに集合していただき、調印式を行った。さらに調印式前に、多くの来場者の方にお楽しみいただくため、グリーティング（来場者とのふれあいタイム）を行った。

また、地元である鎌足保育園の年長、鎌足小学校の1、2年生にお越しいただいた。

(1) 場所

1階メインロビー

(2) 開催時間

グリーティング：11時30分～13時20分

調印式：13時45分～14時45分

市長との撮影会：15時15分～15時25分

(3) 担当

オーガニックシティプロジェクト検討会議

(4) 参加キャラ

全14体（協力団体7団体）

No.	キャラ名	協力団体名
1	ZAQ（1体）	株式会社ジェイコム千葉
2	千葉3兄弟（3体）	自衛隊千葉協力本部
3	キャプテンたちばな（1体）	東海汽船株式会社
4	鳳神ヤツルギ（2体）	株式会社ヤツルギ魂
5	キサラピアパークキャラクター（1体）	泉陽興業株式会社
6	マジッキー（1体）	新日鐵住金株式会社
7	チーバくん	千葉県
8	きさポン	木更津市
9	のこったくん	木更津市

(5) キャラと触れ合った来場者数（グリーティング、調印式全て）

約300人

(6) 市職員事務人数

担当3名（土木管理課 滝沢、情報政策課 米澤、保険年金 鈴木（良））

臨時協力数名 ※（5）備考にて詳細を説明

(7) 備考

- ・地元鎌足保育園年長、鎌足小学校1、2年生にお越しいただくため、バスを用意し送迎を行った。道路交通法により6歳未満はジュニアシート装着した席に乗ることが義務付けられているため、人数分(12人)のジュニアシートを取り付ける際に、臨時協力として、他職員にお手伝いいただいた。
- ・着替え用のテントを農林水産課、桜井公民館からお借りした。



保育スペース

イベントを楽しんでいただくため、子供連れの来場者を対象とした保育スペースを確保したものの。

- (1) 場 所 1階控え室7
- (2) 預かり時間 10時～16時30分
- (3) 担 当 オーガニックシティプロジェクト検討会議
- (4) 預かり人数 午前 10時から12時 7名
午後 14時から16時30分 0名

※午後の控え室については、授乳及びオムツ交換等に部屋を利用しました。

- (5) 市職員事務人数 2名
- (6) 関係団体 こあらの会

ナチュラルコスメ講座

オーガニックコスメは、農薬や化学肥料を使わずに有機栽培された植物からできた成分を主原料とするため、肌本来の力を高めて根本から美肌を作り出す効果が高い。そこで、「試してみよう 暮らしの中にオーガニック」というフレーズのもと、オーガニックコスメを用いたメイクは決して「特別なもの」ではなく、「身近に取り入れられるもの」という視点から、その安全性や肌・心への効果などについてセミナー形式で講師がメイクの実演及び説明を行った。



(1) 場所

2階メインホールホワイエ

(2) 講座開催時間

(1回目) 11:15~12:00 / (2回目) 14:15~15:00

(3) 担当

オーガニックシティプロジェクト検討会議

講師：ナチュラルコスメ・ヘアーメイクアップアーティスト 小松 和子 氏

(4) 内容

オーガニックコスメを使用したナチュラルメイクの実演及びセミナー。

オーガニックコスメ（小松 和子氏プロデュース・コスメブランド「babu-」）等の販売。（最初に講師が、一般のコスメが肌へもたらす影響や、今なぜ美容分野にオーガニックが注目されているかなどを詳しく説明しながら、日々進化しているオーガニックコスメの紹介を行った。また、市民やスタッフをメイクモデルとしてメイクの実演をし、メイクポイントやコスメの効果的な使い方などを詳しく教えた。）

(5) 来場者数

受講者 約60名（各講座30名×2回）

(6) 市職員事務人数

3名

(7) 結果

幅広い年代の女性が講座に参加し、受講者からは満足の声が多数上がった。

オーガニックコスメを用いたメイクは、「女性であることを楽しむこと」や「自分を大事にすること」に強く繋がり、毎日の生活をより充実させるため、この講座を通して多くの女性たちの興味や関心を掴んだという印象だった。



木更津市マスコットキャラクター「きさポン」スタンプラリー

来場者が本市の多岐に渡るオーガニックに関する取組について理解を深めることを目的に、スタンプラリーを実施した。スタンプ台紙はイベントのパンフレットと一体型とした。

スタンプは、会場の隅々に訪問するように、また、自立・循環・共生のそれぞれのコンセプトに訪問するように、会場内のイベントブース5ヶ所に設置した。ただし、講演会を行う会場は出入りがあると講演に支障をきたすため極力設置せず、講演会場となる部屋に設置する場合は、その部屋で紹介されている取組に関するポスターを部屋の前に設置し、スタンプをそこに置いた。

スタンプラリー参加者が途中で諦めることがないように、スタンプ設置場所には、次のスタンプが設置されている場所のヒントを記載。ヒントは5ヶ所全てに設置し、どのスタンプから始めても、全てのスタンプ設置場所を回れるようにした。

全てのスタンプを集めた者は、クジが引け、結果により景品を受け取れるものとした。

(1) 場所

(抽選会場) 1階メインロビー

(スタンプ設置場所) 107、102、104、202A、202ホワイエ

(2) 開催時間

10時～17時

(3) 担当

オーガニックシティプロジェクト検討会議

(4) スタンプラリー景品数

1等：きさポンぬいぐるみ 3個

2等：フードコーナー500円チケット 10枚

3等：きさポンボールペン 15本

4等：きさポンクリアファイル 15枚

5等：イベントラベル付き限定ポケットティッシュ 500個

(5) スタンプラリー参加者

約50人

(6) 市職員事務人数

2人

(7) その他

抽選については、5等の数が多かったため、当たりが出やすいように、5等のクジを少なくした。



フードコーナー

来場者をもてなすため、また、市内外に木更津の食を PR するため、市内で活動する出店者を中心に、地元食材を使用した弁当販売などの飲食店・農水産物・雑貨等加工品の販売を行った。

(1) 場所

1階メインロビー（飲食）及び2階メインホールホワイエ（雑貨・農産物）

(2) 開催時間

11時～17時

(3) 出店数

30店舗（内訳：飲食店19、雑貨6、農産物5）

No.	出店者名	販売内容
1	地元の女子高生プロデュース・地元食材を使ったワンコインランチ	県立木更津東高校の生徒がメニュー開発をしたワンコインお弁当
2	木更津市観光ブルーベリー園協議会	ブルーベリーゼリー・ジュース、他
3	JBK Farm	パッションフルーツ、他
4	イオンスタイル木更津	イオンのオーガニック商品の試食
5	平野養豚場	お持ち帰り用ベーコンブロック、ウインナー、他
6	ピッツェリアスクデット	国産小麦粉のピッツァ、オーガニックティ、他
7	米つぶ屋	ポン菓子
8	日和佐燻製工房	徳島県産の魚介のスモーク
9	わだぱん	地粉配合手作りパン、地元素材サンドイッチ、他
10	洋食とワイン ブッフルージュ	肉串
11	藁珈琲洞～コーヒーと季節の美味しいもの～	自家焙煎コーヒー、焼き菓子
12	木更津焼きそば	焼きそば
13	コミュニティーマーケット ベアーズ	雑穀ベジコロッケ、玄米ドーナツ、他
14	シャム食堂	パッタイ（タイ料理・焼き麺）
15	抱と結～はぐとゆい	自家焙煎コーヒー、珈琲豆、沖縄そば
16	たこ秀	たこ焼き
17	Ancora Pizza Napoletana	ナポリピッツァ、手作りソフトドリンク
18	一粒舎	木更津産ブルーベリーを使用したパフェ、他
19	農処 Shiki	自然農のお豆、竹のカトラリー、手編雑貨
20	MCARAM	マクラメアクセサリー、雑貨

21	olivier odorant オリヴィエ オドラン	アクセサリー
22	ROSEBAY	ネパール産ヒマラヤ岩塩
23	亀吉	米Tシャツ、米バッグ、米前掛け、他
24	センチメンタルジャーニー	ブローチ、ターバン、雑貨類
25	耕す木更津農場	にんじんジュース、平飼卵のロールケーキ、他
26	ののま自然農園／暮らしの工房ののま	自然農の野菜・米、無農薬和綿の手紡ぎ布、他
27	松崎農園	アイガモ米、玄米、ブルーベリージャム
28	ビーコンシェルジュ	はちみつ
29	医農野菜の会	秋～冬が旬の葉物・根菜類、しいたけ
30	AVANTI	オーガニックコットンを使用した風呂敷等

(4) 総売上げ

約100万円

(5) 金券使用枚数

1,093枚

※運営ボランティアやまちづくりイベント従事者など外部の方に金券を配布した。(1枚100円)

(6) 市職員事務人数

4人

(7) 出店者からの声(アンケートによる)

- ・来場者の数が多く、オーガニックの可能性を感じました。
- ・“オーガニックなまちづくり”というコンセプトを共有するきっかけとなるイベントでよかったと思います。
- ・お客様がたくさん来てくれて良かったです。



懇親会

オーガニックなまちづくりのキックオフイベントであるフェスティバルの開催にあたり、参加者同士の親睦や交流を深めるため、開催するもの。また、17日（木）に開催する「ALGOA フォーラム in Kisarazu」に参加するアジア9カ国の海外ゲスト及びスピーカーを招き、おもてなしをし、国際交流を図るもの。

(1) 会 場

オークラアカデミアパークホテル（平安の間）

(2) 開催時間

18時00分～20時00分

(3) 出席者

合計80名（来賓、主催者等59名、海外ゲスト21名）

(4) 内 容

① 開会



② 主催者代表挨拶

木更津市オーガニックシティプロジェクト推進協議会副会長
（木更津商工会議所 会頭） 鈴木 克己



③ 来賓祝辞

- (1) インドネシア環境林業省 大臣顧問
- (2) IFOAM アジア 理事長 Zhou Zejiang
- (3) 千葉県議会議員 高橋 浩



④ 乾杯

木更津市議会 議長 滝口 敏夫



⑤ アトラクション

- (1) 木更津芸者
- (2) 木更津諏訪太鼓



⑥ 中締め

副市長 久良知 篤史



⑦ 閉会



3. 11月17日実施イベント結果

ALGOA フォーラム in Kisarazu

～農によるオーガニックなまちづくりフォーラム～

(1) 開会 (司会進行: 鈴木 希依子 (すずき きえこ))



(2) 主催者挨拶

木更津市オーガニックシティプロジェクト推進協議会
会長 木更津市長 渡辺 芳邦 (わたなべ よしくに)



(3) 来賓祝辞

- ① 韓国槐山郡 (ALGOA 代表) Mr. Woo Jong Jin
Director of Dept. of Agricultural Policy Goesan County
- ② 衆議院議員 浜田 靖一
(代理: 近藤秘書)
- ③ 農林水産副大臣 齋藤 健 (さいとう けん)
(代理: 農林水産省生産局農業環境対策課長 河内 幸男)
- ④ 千葉県農林水産部流通販売担当部長 石渡 安博



(4) 来賓紹介

インドネシア共和国 イルヤス アサアド大臣顧問

IFOAM アジア 理事長 Dr. Zhou Zejiang (中国)

木更津市議会 議長 滝口 敏夫

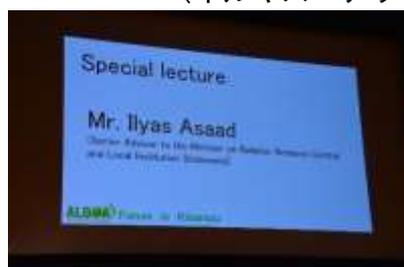
木更津市議会 副議長 白坂 英義



(5) 特別講演

インドネシア共和国 環境林業省

(イルヤス アサアド大臣顧問)



(6) 基調講演

IFOAM アジアの紹介、ALGOA の設立経緯及び ALGOA の活動について

(IFOAM アジア 理事長 Dr. Zhou Zejiang (中国))



(7) 先進事例発表(アジアの国々から地方自治体の先進事例発表)

1) 韓国洪城郡オーガニック農業先進地

【ジョン マンチョル (Jung Manchul)】



2) 貧困を乗り越えるオーガニックコミュニティー

【ドミンガ市長 (フィリピン) Mark Villarin Pacalioga】



3) インドビオファーム 農地 100%有機認定シッキム州

【マノージ メノン (Manoj Kumar Menon)】



4) 2020年100%オーガニックへ 学校給食の取組など

【ガサ県（ブータン） Thuji Tshering】



5) 埼玉県小川町下里地区の取組～地域と支え合う美しい村～

【霜里農場 金子友子（かねこともこ）、石川宗郎（いしかわむねお）】



6) 木更津市の農によるオーガニックなまちづくりの取組紹介

【木更津市経済部長 鎌田 哲也（かまた てつや）】



(8) 昼食

メインロビーで hanahaco 弁当 100個、カフカ弁当 100個、中郷記念館のパン 250個を販売した。また、温かいオーガニックほうじ茶を提供した。



(9) コーヒーブレイク (10:50~11:00、12:00~13:00、15:00~15:00)

海外ゲストやスピーカーなど「ALGOA フォーラム in Kisarazu」に参加していただいた方をおもてなしするため、オーガニックコーヒー等提供ブースを設置した。海外ゲストの方には、ほうじ茶、ふかし芋が特に喜ばれていた。

※その他の時間帯でも、飲食可

①場所

2階メインホールホワイエ

②飲食数

○飲料

オーガニックコーヒー約500杯 オーガニック紅茶約10杯

オーガニック緑茶約10杯 オーガニックほうじ茶約300杯

○お茶菓子

ロールケーキ (株式会社耕す提供品) 3本 オーガニックせんべい約50枚

オーガニックビスケット約30枚 オーガニックチョコレート 約30粒

ふかし芋約30本



(10) リレートーク (アジア各国のサステイナブルな取組紹介)

1) モンゴル【Onon Deriilaamyatav】



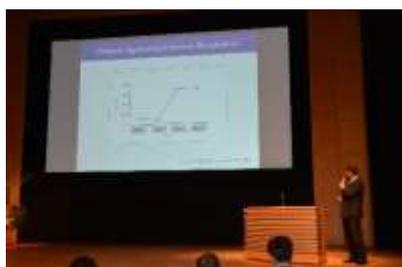
2) スリランカ【Presad Rathnayake】



3) 中国【He Yongqing】



4) バングラデシュ【Tanveer Hossain】



5) インドネシア【ボゴール市長 (Bima Arya Sugiarto)】



(11) パネルディスカッション

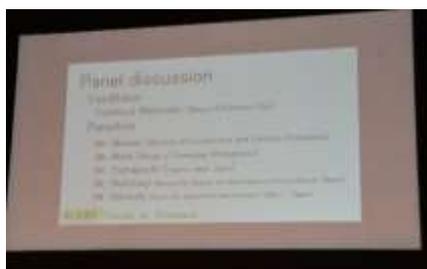
～持続可能な未来へ、イノベーションが始まる地方自治体ネットワークの可能性と役割～

【パネラー】

- 1) インドネシア共和国 環境林業省 調査研究部
ママン テュルジャマン (Maman Turjaman)
- 2) ドミンガ市長
Mark Villarin Pacalioga
有機農業を進める自治体首長連合。現在メンバーが 50 にもなる連合の有効性と可能性、課題などを紹介。
- 3) 一般社団法人オーガニックヴィレッジジャパン
山口 タカ (やまぐち たか)
2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、フード・ビジョンが発表され、有機農産物など持続可能で責任ある調達が求められている。質の高い食を提供するための自治体の取組を紹介。
- 4) オーガニック・エコ農と食のネットワーク (NOAF)
西辻 一真 (にしつじ かずま)
農林水産省と民間が共同設立した NOAF の取組と地域活性化の可能性を紹介。
- 5) 千葉県いすみ市農林課 主査 鮫田 晋 (さめだ しん)
環境と経済の調和によるまちづくりを進め、学校給食へいすみ市産有機米を使うなどの取組紹介と自治体ネットワークへの意欲を共有いただいた。

【ファシリテーター】

木更津市オーガニックシティプロジェクト推進協議会
会長 木更津市長 渡辺 芳邦



(12) 閉会

「木更津オーガニックシティフェスティバル宣言」

千葉県立木更津高等学校 2年 奥野巧、佐生浩季



(13) エクスカーション

1) 趣旨・目的

平成28年11月17日(木)開催の「ALGOA フォーラム in Kisarazu」に招へい予定の海外ゲストについて、「木更津市オーガニックシティフェスティバル2016」開催初日となる16日(水)に、「オーガニックなまちづくり」の取組への見識を深めて頂くため、下記のとおりエクスカーション(体験型の見学会)を行う。

2) 日 時

平成28年11月16日(水) 12時50分～15時20分

3) 随行者

- ・企画部企画課(男女共同参画・国際担当総括) 副主幹嶋田清美
- ・経済部農林水産課(農林調整担当) 主査野村洋貴
- ・木更津市国際交流協会(KIFA) 通訳ボランティア(4名程度)

4) 行 程

タイムスケジュール	行 程 等
12時50分～ ～13時00分	かずさアカデミアホール発 (移動手段: オークラアカデミアパークホテルマイクロバス) 木更津市立鎌足小学校着(矢那609) ・かずさオーガニックビレッジ(学校給食を活用した地域活性化事業)において、給食残渣を肥料化している現場を見学。 【ご説明者】 ・株式会社耕す木更津農場マネージャー 豊増洋祐氏 ・レコテック株式会社代表取締役 野崎衛氏
13時30分～ ～13時40分	木更津市立鎌足小学校発 株式会社耕す木更津農場着(矢那2503) ・循環型の有機栽培を実践する農場の見学。 【ご説明者】 ・同上
14時15分～ ～14時25分	株式会社耕す木更津農場発 ナチュラルカフェ+ショップ hanahaco 着(矢那1879-1) ・地場野菜やフェアトレード食材を中心に使用したランチの提供 や農福連携の取組の説明。 【ご説明者】 ・hanahaco 田崎健氏
15時10分～ ～15時20分	ナチュラルカフェ+ショップ hanahaco 発 かずさアカデミアホール着

第3 広報・配布物関係



(1) ポスター及びチラシ

ポスター (A1)、チラシ表面 (A4)



チラシ裏面 (A4)



ALGOA フォーラム in Kisarazu チラシ表面 (A4)



チラシ裏面 (A4)



(2) ALGOA フォーラム in Kisarazu 来場者への配布物

参加者パック (内容 : パンフレット、協賛品、ステッカー等)



ステッカーサイズ : 100π



協賛品 (ストレスリリーサー)



(フリクションボールペン)



協賛品 (燻製しょう油、燻製オリーブオイル)



(3) 当日配布パンフレット

16日専用パンフレット サイズ：A3 4つ折り（8ページ折り）



ALGOA フォーラム in Kisarazu 専用パンフレット サイズ:A4 冊子(P18)



(4) のぼり旗

サイズ：W600mm×H1800mm



(5) バナースタンド等

バナースタンド（写真 左右）

ウッドラックパネル（写真中央）W1800×H1800



第4 決算書



○収入

項目	支出額	手数料	摘要	予算区分
1. 負担金	10,000,000			
①負担金				
木更津市負担金(フェス)	4,000,000			フェス
木更津市負担金(ALGOA)	6,000,000			ALGOA
2. 諸収入	453,426			
①諸収入				
協賛金	100,000			フェス
職員懇親会費	280,000			ALGOA
職員弁当等購入	17,500		@700*25	フェス
コーヒーフィルター返金	1,526			ALGOA
コーヒー販売	4,400			ALGOA
ALGOA入場料(17日)	50,000		@2000*25	ALGOA
合計	10,453,426			

○支出

項目	支出額	手数料	摘要	予算区分
1. 会場費	1,474,737			
①ホール			3日間合計	
メインホール室料 3日間	313,200	864		フェス
舞台清掃費	11,598			フェス
②会議室他			3日間合計	
室料(15日)	74,652			フェス
室料(16日)	377,753			フェス
室料(17日)	51,412			ALGOA
③会場設営費			3日間合計	
備品(15日)	75,510		照明等含む	フェス
備品(16日)	298,896		照明、バナガイド等含む	フェス
備品(17日)	271,716		照明、バナガイド等含む	ALGOA
2. 招へい費	3,397,329			
①航空賃(アジア)				
海外ゲスト航空費	1,603,719	1,620		ALGOA
ビザ申請に伴う国際郵便料	14,080			ALGOA
②宿泊費及び滞在費				
海外ゲスト飲食費	535,404		うちWP20万円	ALGOA
海外ゲスト宿泊費	821,600		キャンセル料含む	ALGOA
送迎交通費等	12,800			ALGOA
各種謝礼	6,750			ALGOA
③ウェルカムパーティ			16日。催し物等含む	
懇親会費	309,976		うちWP28万円	ALGOA
余興者弁当	23,000			ALGOA
木更津芸者 謝礼	40,000			ALGOA
木更津諏訪太鼓 謝礼	30,000			ALGOA
3. 通訳費	496,680			
①通訳謝金			2日間	
通訳 謝礼	496,680	864		ALGOA
4. 開催費	213,160			
①司会、ゲストスピーカー謝礼等				
司会謝礼(2日間計)	50,000	648		フェス
トークセッション謝礼(16日 3人)	90,000	2,268		フェス
ゲストスピーカー謝礼(17日 3人)	70,000	1,512		ALGOA
ゲストスピーカー交通費(17日)	3,160			ALGOA
5. イベント開催費	95,060			
①会場費			2日間	
会場装飾費	75,060	864		フェス
舞台装飾	20,000			フェス
6. レジストレーション費	530,604			
①当日運営				
各種手数料	324			ALGOA
備品等	1,080			ALGOA
②参加者バック				
オリジナル風呂敷 700枚	529,200	864		ALGOA

7. 広報費		1,308,960		
①デザイン、印刷費				
フェスティバルチラシ20000部	86,400			フェス
A1ポスター	36,720			フェス
ALGOAチラシ20000部	110,160	864		ALGOA
のぼり旗	25,920			フェス
ALGOAパンフレット700冊	75,600	864		ALGOA
A5チラシ(コスメ・ゆるキャラ)1000部	27,000			フェス
フェスティバルパンフレット3000部	64,800			フェス
ステッカー作成	218,160	864		フェス
WEBコーディング費	216,000			フェス
デザイン等作成費	448,200	864		フェス
8. 運営費		919,301		
①事務局費				
事務局運営支援委託費	712,800	864		ALGOA
②消耗品費				
16日イベント用吊り下げ名札	16,000	648		フェス
17日イベント用吊り下げ名札	18,308			ALGOA
各種備品	3,598			ALGOA
プレゼン用備品	2,865			フェス
③通信費				
郵送用切手	12,000			フェス
KIFA会員宛チラシ送付	10,320			ALGOA
国内自治体チラシ送付	142,762			フェス
送付用備品	648			フェス
9. 食糧費		116,202		
①昼食代				
主催用弁当	17,500			フェス
②飲み物代				
コーヒーブレイク用備品等	49,014			ALGOA
コーヒーサーバー等レンタル代	49,688	324		ALGOA
10. その他		427,284		
①イベント保険			2日間合計	
16日保険(傷害)	1,000			フェス
17日保険(傷害)	1,000			フェス
2日間保険(賠償責任)	18,630			フェス
②バスレンタル			3日間合計	
房総エクスプレス 委託料	378,540	864		ALGOA
③オーガニックライフスタイルエキスポ(18日、19日)				
電気設備工事費等	27,864	648		フェス
郵送費	250			フェス
11. まちづくりイベント出展関連経費		1,299,003		
①市民活動支援課				
展示用備品	5,736	864		フェス
謝礼	300,000	864		フェス
②子育て支援課				
パンフレット印刷	37,000			フェス
あしがた屋使用備品	13,000			フェス
③高齢者福祉課				
講演講師 謝礼	50,000	1,512		フェス
④健康推進課				
展示用パネルA1 10枚	16,200			フェス
展示用出力紙	11,124			フェス
⑤鎌足公民館				
展示用フック・色紙等	22,118	864		フェス
⑥木更CoN				
城西国際大学学生交通費等	15,000	864		フェス
展示及びワークショップ材料費	80,000			フェス
消費税	7,600			フェス
⑦学校給食課				
講演講師 謝礼	222,742	864		フェス
⑧農業委員会				
試食用食材	24,381			フェス
試食用備品等	10,084			フェス
クリーニング	345			フェス
⑨環境管理課				
展示用備品	18,036	648		フェス
⑩まち美化推進課				
展示用備品	6,076	648		フェス

11.まちづくりイベント出展関連経費(続き)				
⑪工務課				
展示模型搬送費	86,400	864	運搬費(往復)	フェス
⑫生涯学習課				
展示用備品	36,409			フェス
⑬中央公民館				
展示用備品	15,020			フェス
無料配布用珈琲豆等	24,972	864		フェス
珈琲 講師 謝礼	10,000			フェス
⑭障害福祉課				
無料配布用椅子等作成費	20,000	648		フェス
展示用備品	5,478			フェス
⑮フードコーナー				
ファーマーズマーケット等				
金券(ファーマーズ) 874枚	87,400			フェス
金券(ワンコインランチ) 80枚	8,000			フェス
金券(一粒舎) 129枚	12,900			フェス
金券(熱帯村) 10枚	1,000			フェス
木更津東高校プロデューズ・地元食材を使ったワンコインランチ				
展示用備品	27,000	648		フェス
⑯その他				
スタンプラリー				
スタンプラリー景品	7,344			フェス
スタンプラリーくじ作成代	500			フェス
オーガニックコスメ				
講師謝礼	80,000	864		フェス
東高書道パフォーマンス				
備品購入費	12,528			フェス
着物クリーニング代	7,745			フェス
子ども預かり				
お茶、ゴミ袋等備品	865			フェス
子ども預かり謝礼	6,000			フェス
救護				
保健師謝礼	10,000	432		フェス
⑰報告書作成				
報告書作成委託	48,993			フェス
報告書作成委託	98,357			ALGOA
合計	10,425,670	27,756		

収支差額 0

	歳出	歳入
フェス	4,117,500	4,117,500
ALGOA	6,335,926	6,335,926

※振込手数料含む

第5 各社新聞記事



本フェスティバルについて、各社より以下のように掲載された。

11月21日（月）付 時事通信社 iJAMP

iJAMP -時事通信社-

1/1 ページ

時事通信社 iJAMP
iJAMP記事

◎有機農業推進へ国際フォーラム＝オーガニックなまちづくりで―千葉県木更津市

16/11/21 15:12 NH015

「オーガニック」をキーワードにしたまちづくりに取り組む千葉県木更津市で、アジア各国で有機農業を推進する自治体が集う国際フォーラムが開かれた。市が施策のキックオフイベントとして16～17日に初開催した「オーガニックシティフェスティバル」の一環で、有機農業に関連した自治体間ネットワークの可能性などについて議論が行われた。

市は今春策定した地方創生総合戦略で、まちづくりの方向性として「オーガニックシティ」を提示。人と自然が調和した持続可能な都市を構築し、次世代につなぐ取り組みを「オーガニックなまちづくり」と定義し、主体的に考え行動する市民の育成、資源の循環、共生社会の実現などを柱に具体化を進めている。

渡辺芳邦市長が昨年と今年、韓国槐山郡で開催されたアジアの有機農業推進自治体ネットワーク組織「ALGOA」サミットに参加したことをきっかけに、関連するフォーラムとして開催を決めた。韓国、フィリピン、インドネシア、中国、バングラデシュなどから自治体の首長や有機農業に取り組む団体関係者らが訪れ、取り組み事例を発表した。

有機農業を軸にした自治体間連携の可能性をテーマにディスカッションも行われた。フィリピンのドミンガ市長は、有機農業を推進する同国の自治体首長連合について紹介。千葉県いすみ市農林課は、農家に協力を求めて米の有機栽培を進め「いすみっこ」としてブランド化した経緯や、全小中学校の給食に導入し、2017年に全量を市産の有機米にする計画を説明した。

木更津市も地元産野菜を学校給食に取り入れ始めた。渡辺市長は「給食を含め、今後取り組めるテーマを考えている。今回のフォーラムで海外と国内の事例が繋がったが、さまざまなつながりを探していきたい」と話した。（了）

関連情報

人物 渡辺芳邦氏のプロフィール

※本印刷物は時事通信社 iJAMPサービスから印刷されました。

Copyright JIJ PRESS Ltd. All Rights Reserved.

有機の町づくり進めよう



オーガニックシティフェスティバルで有機産物や野菜加工品などを販売

今年度から「オーガニックなまちづくり」に取り組み、千歳市と東津軽市で「オーガニックシティフェスティバル」が開かれた。同市が町づくりについて講演、シンポジウムなどを通じ情報発信、有機産物や雑穀、飲食などの販売、オーガニック関連や市民活動に関するセミナーなどを実施し、市民や関係者がオーガニックへの理解を深めた。

千歳市東津軽市でフェスティバル シンポで情報発信

市や農業・教育観光の団体、可能な都市をつくり、次世代や企業などで構成する、木更に「つながりたい」と今後の方向性について話し合った。同市は、オーガニックによる町づくりの基本的考えとして「一人と自然が調和した持続可能なまちづくり」を掲げ、シンポジウムやイベントでは、アジアの有機農業や関連産業団体、関係者を招いた特別講演、シンポジウムなどを通じて情報発信、有機産物や雑穀、飲食などの販売、オーガニック関連や市民活動に関するセミナーなどを実施し、市民や関係者がオーガニックへの理解を深めた。

同市は18、19日に東京・有明の国際フォーラムで開かれた「オーガニックシティフェスティバル」に出展。オーガニックの町づくりについて情報発信する。

（中）は、青果

今年度から「オーガニックなまちづくり」に取り組み、千歳市と東津軽市で「オーガニックシティフェスティバル」が開かれた。同市が町づくりについて講演、シンポジウムなどを通じて情報発信、有機産物や雑穀、飲食などの販売、オーガニック関連や市民活動に関するセミナーなどを実施し、市民や関係者がオーガニックへの理解を深めた。

進事例を基に、町づくりをテーマに意見交換した。同協議会の参加団体で有機農業に取り組み、農産物加工人権村す木津農場の豊増洋右マネジャーは「有機農業は土が本来のバランスを取り戻す畑地をつくることで、土が自ら土づくりするメカニズムができる。オーガニックの考えを町づくりに取り入れる」などと話した。

（下）は、サツマイモ販売強化へ産地連携

【埼玉・ちちぶ】秩父市「栽培」を始めた。JAちちぶ地域の井上園の園主・井上隆雄さんは、約25年間で「シナノスイート」「ふじ」「へんまき白」のリンゴを栽培する。もとでは産地調整だったが、1988年に県職員からの勧めで、リンゴ栽培を始めた。JAちちぶにも勧められた。本格的に栽培する。現在、JAりんご部会の部長を務める。リンゴは、JA農産物直売所に出品する他、同園でリンゴ狩りも楽しめる。オーガニックを導入しており、利用者が契約した自分の



リンゴを

に食べてほしい。良いリンゴが栽培できるので、担い手が増えてほしい」と話した。

秩父地域のリンゴは、昼夜の寒暖差が大きく、甘味が乗り、栽培に適している。樹光果樹として、わい化で栽培している。10月中旬から1月下旬に旬を迎える。

同部会では毎年、栽培講習会や品質会などを開催し、栽培技術の水準を高

れ、後継者不足に農業農村整備事業関係予算の確保に関する要請活動を行った。

同日は、北杜市長で同協議会の白倉政司会長をはじめ、7市1町1村の長が、高齢化や人口減少など、厳しい状況にある農業・農村の現状を訴えた。そして、国、県が目指す競争力の高い農業、農業・農村の持続的な発展を図る農政改革には、



7条刈りのコンバインで一気に稲刈り

農地で、米を代々栽培。7条刈りのコンバインで一気に稲刈り

農地で、米を代々栽培。7条刈りのコンバインで一気に稲刈り

（上）は、稲刈り

（中）は、サツマイモ販売強化へ産地連携

（下）は、サツマイモ販売強化へ産地連携

処分場の早期建設要望

指定廃棄物の処分場建設問題

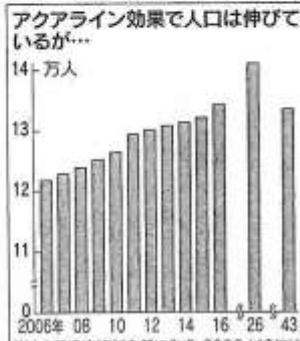
指定廃棄物の処分場建設問題。環境省が2015年4月、千葉県行の核燃料サイクル発電



イベントでは市内の事業者が50組のブースや店舗を出した(16日、木更津市)

木更津、就農で活性化

産学官で行動計画、若年層呼び込み



商業と並ぶ経済の柱に

商業と並ぶ経済の柱に。木更津市は、産学官連携で行動計画を策定し、若年層の呼び込みを図る。17日にはインドネシアの環境・林業関係者による特別講演や、アジア各国の先進事例を紹介するフォーラムを開く。

同市は「オーガニック」を有機農業に限らず農林水産資源を生かした地域活性化策と位置づけ、木更津商工会議所やJAM（木更津工業高等専門学校）などによるプロジェクト推進協議会を立ち上げた。協議会には、オンモールや住宅建設の新田和（君津市）、農業プロデューサーの小林武史氏が率いる農業生産法人などが参加している。

イベントで魅力PR

16日に始まった「木更津市オーガニックシティフェスティバル」は、地方創生の総合戦略の一環として17年度から着手する「オーガニックなまちづくり」を紹介するイベント。会場のかずさアカデミアホールには市民など3000人が集まり、渡辺秀邦市長などが街頭演説の姿について講演した。会場では農業生産法人などが自社商品や、有人などが自社商品を、有人などが自社商品を、有人...

千葉県木更津市が就農を軸とした活性化に乗り出す。16日から有機農業の魅力を紹介するイベントを開催。今年度中に産学官共同で行動計画を策定する。東京湾アクアライン効果で商業分野で雇用が生まれており、若年層を呼び込み就農を促すことで農業と商業を地域経済の柱に育て、2019年度までに市内の就労者を約5万2000人と12年度から1割増やす。

京王百貨店は12月16日、スイスの高級時計「ロレックス」の大型店を新宿店（東京・新宿）に開く。都内の百貨店では面積、品ぞろえともに最大級となり、常時550点以上の商品を展開する。新宿店1階の正面入り口横に店舗を設け、高級時計やブランド愛好者に

京王百・新宿店に
来月、品ぞろえ550点以上

加え、新宿駅を利用する通勤客の需要を取り込む。新設する「ロレックス アティック京王新宿」の売り場面積は約160平方メートル。6階の時計売り場からロレックスだけを専設し、品ぞろえを拡充する。定番シリーズから金やプラチナ、宝石を使った高級ラインまで扱う。店内は落ち着いた雰囲気を出し、ゆったりとした空間を演出している。

地元産野菜などの地産地消にも取り組む。市内の小中学校で市産の有機野菜を使った給食を提供し、残飯を回収し肥料として農家に提供する循環型モデルを導入する。一部地域では試験的に実施しており、次年度以降、順次地域を拡大する。このほか木更津市が盛り返しを考えた。木更津市では東京湾アクアライン開通や通行料金の値下げなどにより、周辺の再開発が加速。千葉県の毎月常住人口調査によると、16年4月1日時点の人口は13万4281人と10年連続で増えた。三井アウトレットパーク木更津やオンモールの

木更津市では東京湾アクアライン開通や通行料金の値下げなどにより、周辺の再開発が加速。千葉県の毎月常住人口調査によると、16年4月1日時点の人口は13万4281人と10年連続で増えた。三井アウトレットパーク木更津やオンモールの

木更津市では東京湾アクアライン開通や通行料金の値下げなどにより、周辺の再開発が加速。千葉県の毎月常住人口調査によると、16年4月1日時点の人口は13万4281人と10年連続で増えた。三井アウトレットパーク木更津やオンモールの

木更津市では東京湾アクアライン開通や通行料金の値下げなどにより、周辺の再開発が加速。千葉県の毎月常住人口調査によると、16年4月1日時点の人口は13万4281人と10年連続で増えた。三井アウトレットパーク木更津やオンモールの

指定廃棄物の処分場建設問題。環境省が2015年4月、千葉県行の核燃料サイクル発電

指定廃棄物の処分場建設問題。環境省が2015年4月、千葉県行の核燃料サイクル発電

指定廃棄物の処分場建設問題。環境省が2015年4月、千葉県行の核燃料サイクル発電

指定廃棄物の処分場建設問題。環境省が2015年4月、千葉県行の核燃料サイクル発電

指定廃棄物の処分場建設問題。環境省が2015年4月、千葉県行の核燃料サイクル発電